

授業科目名・形態	保健医療論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	古川 博文・工藤 賢一	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬に関する内容を含む。）や保健医療サービスについて理解し、保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種連携・協働について学びます。

【到達目標】

- (1) 医療・介護サービスの現状及び診療報酬・介護報酬について説明できるようになる。
- (2) 保健医療サービスにおける専門職種の連携・協働の意義について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第1回 保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割(1)
- 第2回 保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割(2)
- 第3回 保健医療サービスを提供する施設とシステム(1)
- 第4回 保健医療サービスを提供する施設とシステム(2)
- 第5回 保健医療サービスを提供する施設とシステム(3)
- 第6回 保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割(1)
- 第7回 保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割(2)
- 第8回 保健医療サービスの提供と経済的保障(1)
- 第9回 保健医療サービスの提供と経済的保障(2)
- 第10回 保健医療サービスの専門職の役割(1)
- 第11回 保健医療サービスの専門職の役割(2)
- 第12回 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践(1)
- 第13回 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践(2)
- 第14回 保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践(1)
- 第15回 保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践(2)

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクタを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式（スライド、映像等）で行います。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを実施します。

【授業準備】

授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおいてください。

【主な関連する科目】

社会保障論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

社会福祉士養成講座編集委員会（編）『新・社会福祉士養成講座 17 保健医療サービス』中央法規

【参考文献】

特にありません。テキスト以外で必要なものは授業で紹介します。

【成績評価方法】

成績評価は、試験（70%）、レポート提出や授業への取り組み姿勢（30%）で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は福祉施設でソーシャルワーカー（社会福祉士7年・精神保健福祉士6年）として、利用者、その家族、支援者等への相談業務を経験しています。授業を通して社会福祉学の基本知識だけでなく、実務経験から得たソーシャルワーカーとしての知識・技術・価値を統合する能力についても高めていきたいと考えています。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院職員として、診療報酬請求事務が15年、病院管理業務として7年の経験あり。（工藤先生）

【学生へのメッセージ】

予習と復習を行うことで科目の理解度を深めてください。保健・医療・介護・福祉の各制度は、相互に関連しながら機能していることから、各制度に関心を持ち、制度間の関連に着目しながら主体的に学習してください。